

第27回千葉市障害者福祉大会

令和7年12月6日（土）
ハーモニープラザ多目的ホール

9:30 オープニング

開会宣言：大会実行委員長 国本雄一郎
主催者挨拶：千葉市長 神谷 俊一
来賓挨拶：千葉市議会議長 松坂 吉則

9:45 体験作文・ポスター最優秀者表彰

『心の輪を広げる体験作文』 千葉市立小中台小学校 横田 春樹
千葉市立松ヶ丘中学校 江藤 花
『障害者週間のポスター』 千葉市立鶴沢小学校 小幡 莉香

10:05 スポーツ大会出場選手紹介

第24回全国障害者スポーツ大会（滋賀大会） 千葉市代表選手

————◇ 休憩 ◇————

10:35 千葉市消防音楽隊による演奏

11:00 講演会

「ダウン症だってなんでもできる！～兄弟で達成した人生初のフルマラソン～」
講師 あべけん太 安部俊和

12:00 閉会

閉会宣言：千葉市身体障害者福祉会会长 高山 功一

（以上、敬称略）



千葉市障害者団体の紹介

特定非営利活動法人 千葉市視覚障害者協会

視覚に障害を負っても、一日も早く自らが望む日常生活を取り戻すことが大切です。当協会では行政の委託を受けるなどして、ハーモニープラザにて毎週の木曜日に中途失明者相談室、火曜日には予約制で個別相談を行っています。ご本人だけでなくご家族や支援者からの相談にも応じています。また、自立と社会参加を願い、訪問による各種の訓練（白杖歩行、点字、拡大読書器やスマホの使用方法など）のほか、種々の生活相談にも対応しています。さらに、令和7年からヘルパーが外出支援する同行援護事業と、代筆・代読支援員を居宅に派遣する事業も開始しました。

仲間作りを通して手芸やスポーツ教室、バス旅行などで交流を深め、新たな人生を取り戻した会員が多くいます。一人で悩まずにぜひご相談ください。また、一緒に活動してくださるボランティアも募集しています。あなたにとって人生の再発見になるかもしれませんよ。気軽にご連絡ください。

千葉市聴覚障害者協会

聴覚や言語に障害を持つ人たちの団体です。手話や筆談などのあらゆるコミュニケーション手段で、交流を図っています。年間行事（手話まつりや一泊旅行など）は、手話を学んでいる人たちと共に企画し、活動をしています。また、千葉市から委託を受けて手話奉仕員や手話通訳者養成講座、要約筆記者養成講座を開いて、手話通訳者および要約筆記者を育てています。このように、聞こえない人たちが社会参加しやすくなるような環境づくりを目指して、仲間で力を合わせながら頑張っています。

仲間を作りたい聞こえない人、聞こえにくい人がいましたら、ぜひ当協会をご紹介ください。

千葉市オストミー協会

オストメイト（人工肛門・人工膀胱）保有者が、社会復帰と福祉の向上を図るために集まってきた団体です。あなたはオストメイトになって、いろいろな悩みを一人で抱いていませんか。あなたの悩みを仲間に相談することで気持ちが和らぎ、次のステップに踏み出すきっかけにもなります。多くの仲間があなたのご入会をお待ちしています。

千葉市腎臓病患者友の会

私達は透析患者を中心とした腎臓病患者の団体です。会を結成以来、腎臓病患者の医療と生活の向上を目的に活動しています。具体的には腎臓病治療に関する研修会や相談会を開催したり、会員の親睦のためにバス旅行や食事会等を開催し交流を深めています。また腎臓病の恐ろしさを一般市民の皆様に理解していただくために毎年、講演会を開催しています。



千葉市ことばを育てる会

難聴や吃音、口蓋裂、発音不良など、ことば・きこえの発達に困難や心配な子を持つ親の集まりです。親子で楽しむレクリエーションなどの交流により、悩みや不安を共に解決し、子供たちのより良い環境づくりを支援しています。また年に一度「ことばの相談会」を開催して個別相談を受けています。

千葉市肢体不自由児者父母の会

昭和33年、肢体不自由児者の親の会として発足しました。子ども達が高齢化・重度化・障害の多様化するなか、親も研鑽を重ねながら活動し「ディアフレンズ美浜」「ディアフレンズ大宮」グループホーム「春陽苑」を開所しました。子ども達が安心して暮らしていける社会を目指し活動しております。皆様の入会をお待ちしております。

千葉市重症心身障害児(者)を守る会

重度の肢体不自由と知的障害が重複している重症心身障害児者の親の会です。重症児者には医療的ケアを必要とする人が多くいます。「もっとも弱い者を一人ももれなく守る」という会の理念のもと、指定生活介護事業所『さいわい』を拠点として、地域の皆さんの理解や、支援の輪を広げるため活動をしています。

千葉市手をつなぐ育成会

知的障害児者の親の会として、昭和30年に発足しました。幼児期から高齢期まで幅広い人たちがいますが、一人ひとりのライフステージに合わせた暮らしの実現を目指して活動しています。知的障害のある人とその家族が安心して暮らしていくように、地域の方々の理解と共生する社会づくりに向けて、様々な取り組みをしています。

千葉市自閉症協会

自閉スペクトラム症（ASD）の人は、コミュニケーションや社会的なやり取りに困難を抱えており、こだわり行動があるのもその特徴の一つです。また、「感覚過敏」の特性があり、音や光・臭覚・触覚・味覚などの感覚が過剰に敏感です。一方で、痛覚（痛み）の反応が弱く、骨折していても普通にしていることもあります。注意が必要です。私たち自閉症協会は、ASDの理解と啓発、ASDの人とその家族の自立と社会参加を目指して活動しています。

千葉市精神障害者家族会連合会

精神障害者が地域社会で自分らしく生活するためのより良い環境作りを目指し、精神障害者の家族が連携・協力して活動しています。家族会員相互の交流や学び合いの他、社会の理解を広めるための啓蒙啓発、社会福祉関連行事への参加・協力などを行っています。